

登録団体活動紹介

特定非営利活動法人那智が丘えにしのかい

安心して暮らせるまちを目指して

那智が丘団地は丘陵地にあり、豊かな緑に囲まれ美しい眺望を誇る、子育てには理想的な環境です。しかし、平成2年の分譲開始から30余年を過ぎた今、那智が丘の高齢者率は25%となっています。代表理事の高橋さんは、住み慣れた場所に住み続けたいと多くの人が思っているけれど、このまま高齢化が進むと銀行も病院もスーパーも身近には無く坂道が多いこの地域では、生活ができなくなるという危機感を覚えます。

何とかしなければと思い立ち、当時の公民館長に、高齢になってもこの地域で安心して日常生活が送れるように庭の手入れなどを含む生活支援を始めたいと相談したところ、そういう気持ちがあっても信用がないと誰も頼ってはくれないというアドバイスでした。

日常生活では、買い物、通院といった外出が必須です。安心して暮らしに、付き添い型の生活支援も重要な役割を果たすと確信していた高橋さんは、同志を募り共通の思いを確認しながら、2年をかけて団体の土台作りをしました。大きな社会問題として少子高齢化が注目されていた平成24年6月に7名で支援活動を開始しました。具体的な問題として何が想定されるかを地域に当てはめて考え、生活支援以外にも孤立を防ぐ通いの場お茶会や、買い物弱者のための野菜市を開催し誠実な人柄で地域との信頼関係も築いてきました。

活動10年で法人格を取得

情報紙年4回「ホットニュース」の発行や、会員募集のチラシを団地内全戸に配布するなど、活動の周知に努めた甲斐もあり、会員は約70名（利用会員50名・活動会員20名）となりました。近隣地域からもサービスを利用したいという問合せが出てきたことから、自分の住む地域

だけでなく名取市全体の将来を見据え、活動開始から10年を機に、令和2年10月にNPO法人化しました。令和元年度には100件を超える支援依頼がありました。今年は新型コロナワクチン接種の付き添い依頼も加わり、7月時点で50件の支援活動を行っておりニーズの高さが伺えます。

那智が丘えにしのかいは、今後も住み続けられる快適なまち、住んでみたいと言われるまちにしたいとの思いがあります。

また、誰もが安心して困りごとを相談できる団体であることも目指すやり方の一つです。

「地域の人たちへの支援活動は、支える人たちのやりがいと生きがいにも繋がっています。団体運営の課題としては、少子高齢化は顕著になり70歳まで働けるよう法整備は進んでいるが、定年退職者だけの組織では活動の継続は難しくなります。法人格取得で支える側の担い手が増える訳ではないので、人材の発掘が急務です。この活動を多くの人たちに知ってもらい、若い世代の共感も得て参画してもらえたら、これまで積み上げてきた10年間のノウハウを伝え、名取市内の各地域に「えにしのかい支部」ができれば、これほど嬉しいことはありません。

加齢で簡単な家事も難しくなる生活困難者の増加に関して、NPO単体では対応が追いつかない状況です。地域住民と行政機関が問題意識を持って取り組み、多様な太いパイプで繋がれたら、より住みよいまちづくりが実現できるのですが…」と高橋さんは期待をもって語ります。

問合せ先 NPO法人那智が丘えにしのかい
〒981-1244 名取市那智が丘5丁目1-2
携帯 090-5830-3864(代表理事 高橋範幸)

